

平成31年度（2019年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	地理歴史	科目（単位数）	世界史B（4）	学年	3	類型	文理共通
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させることによって、歴史的思考力を培う。また、わが国との関わりに着目させることにより、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	⑭二つの世界大戦	⑭2度にわたる世界大戦がおきた原因と結果を理解し、大戦を避けるような選択肢がなかったどうか考察する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間 ～期末考査	①オリエントと地中海世界 ②アジア・アメリカの古代文明	①オリエント文明を端緒とし、地中海周辺地域で成立した諸文明の特質を理解する。 ②地中海世界以外の地域で発生・発達した諸文明の特質を理解する。また、諸地域文明を比較し、その相違を考察する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	③内陸アジア世界・東アジア世界の形成 ④イスラーム世界の形成と発展 ⑤ヨーロッパ世界の形成と発展	③農耕民族と遊牧民族の抗争、繰り返される分裂と動乱のなかから、中国を統一した王朝が東アジア地域全体に影響を与えたことを理解する。 ④西アジアに誕生した宗教イスラームが該当地域の政治的文化的統一の紐帯の役割をはたし、文明空間を拡大させたことを理解する。 ⑤イスラームの驚異にさらされたユーラシア大陸西端の地域が、キリスト教を紐帯にヨーロッパという文明空間を形成していく過程を理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間 ～期末考査	⑥内陸アジア世界・東アジア世界の展開 ⑦アジア諸地域の繁栄 ⑮冷戦と第三世界の自立 ⑯現在の世界	⑥内陸アジアの動向と東アジアの諸民族の自立の動きを理解する。また、モンゴル帝国・元の時代にユーラシアの陸と海のネットワークがつながったことで、どのような交流がおこなわれるようになったかを考察する。 ⑦14～18世紀までのアジア諸地域の国家とその社会について理解する。 ⑮第二次世界大戦後の国際秩序である米ソ冷戦の流れと冷戦の構造（第三世界、南北問題等）を理解する。 ⑯冷戦終結後～現在の状況を学び、流動化している国際情勢に関心を持つ。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～年度末	センター試験に向けた問題演習	分野別演習及びセンター試験過去問の徹底演習				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書『詳説世界史B 改訂版』(山川出版社) 副教材『グローバルワイド最新世界史図表』(第一学習社)、『世界史用語集』(山川出版社) 『世界史重要語句チェックリスト』(啓隆社)						
学習方法	①教科書を音読する。 ②用語集や問題集を活用し、重要歴史用語を把握し、内容を理解する。 ③授業や家庭学習で、各歴史用語間の関係性を把握する。 ④図説の地図や年表を活用し、歴史の流れや同時代性を視覚的に把握する。						
評価方法	①定期考査(80%) ②平常成績(20%) 出席状況、課題の提出状況、授業中の発言等で②を算出する。						